

祐善寺だより

第32号

発行日

2014年7月8日

真宗大谷派 祐善寺 住職/岡崎 賢 福井県丹生郡越前町上糸生20-2 TEL 0778-34-5170 FAX 0778-34-5170



うつくしいものを

美しいと思える

あなたの

こころが

うつくしい

相田みつを

法句に憶う おも

住職 岡崎 賢

私は、相田みつをさんの言葉の中でも、この言葉は最も好きな言葉の一つです。

何度読んでも、私の心を爽やかにしてくれます。

そして、私の中には、本当に、うつくしいものを美しいと感じられる感受性は、まだ、残っていただろうか？と自問自答しています。

私たちは、物ごとを判断するときに、余計なものを付けて判断してはいないか。余計なものこそ、私たちの身にびっしりくっ付いている煩惱と言う厄介なものではなかったのか。

私たちは、自分に都合の良いように物ごとを見て、判断してはいないか？だから、美しいものでも、本当にうつくしいと頂くことができなのではないのでしょうか。

あなたは、この言葉を読んで、どう感じられましたか？



婦人部の活動へのお誘い



昨年、祐善寺婦人部が誕生しました。ヨチヨチ歩きだしたばかりですが、今年は次の二つの活動を予定しています。

一つは、**祐善寺納涼祭のお手伝い**です。

七月二十一日(海の日)

午前十時集合

焼鳥、焼野菜の準備

餅つきの準備

流しそつめんの準備

その他にも、いろいろなお仕事があります。

乳幼児から歳を重ねた人たち、男性、女性、皆が一つの場所に集まる祐善寺納涼祭には、私たち女性ならではの力が必要となります。

笑顔、言葉かけ、心遣いが納涼祭をより盛り上げ、思い出に残るひとときになってくれれば、私たちは、とても嬉しそうです。



婦人部 昨年10月の活動の一コマ

二つ目は、**報恩講前のお手伝い**です。

十月十九日(日)

午前中の二時間程度

どんなお手伝いができるか、相談しながら進めていきたいと思っております。

詳しくは、「祐善寺だより」次号でお伝えさせていただきます。二つの活動に、是非、ご参加をお願いいたします。



すっかり「納涼祭」名物となった流しそつめん

一つだけのご参加も、大歓迎です。

祐善寺婦人部は、祐善寺の女性のかた全員の集まりです。力仕事はできなくても、お顔を見せて下さるだけで良いのです。

山の上に位置する緑多い祐善寺で、澄んだ空気をおなかいっぱい吸い込み、一緒に話しをしましょう。お待ちしております。

□伝えて、少しずつ少しずつでも、婦人部への参加の波が広がって欲しいなと心から願っています。

ご参加いただけるかたは、祐善寺までご連絡いただけます。よろしく、お願いします。

(桑原文子)

◆祐善寺納涼祭2014 ボランティア募集◆

「納涼祭2014」が今年も開催されます。

納涼祭の運営をお手伝いして下さるボランティアを、左記のとおり募集しています。

皆様、どうか、ご協力をお願いします。

開催日時

七月二十一日(海の日)

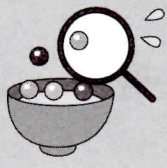
十時集合

お手伝い内容

餅つき・焼き鳥・流しそつめん・ゲーム等の会場準備、食材調理、運営のお手伝い

参加申込み

七月十八日までに、祐善寺までお申込み下さいませ。



**「祐善寺納涼祭2014」
実行委員会開催!**

祐善寺の夏の恒例行事となった「祐善寺納涼祭」の本年度の開催概要を検討する第一回の実行委員会が、六月八日(日)実行委員、役員十七名が参加して開催されました。

実行委員長に松島守氏(森区)を選出したあと、「祐善寺納涼祭2014」の日時、内容等を協議しました。

今年、新しいメニューとして、餅つき大会をすることになりました。



今年の納涼祭のメニューなどが検討されました

今年は、左記のとおり開催することになりましたので、皆様、お誘い合わせの上、是非、ご参加下さいませよう、実行委員会一同、お待ちしております。

日時
七月二十一日(海の日)
午後三時開会

内容
祐善寺納涼祭名物「流しそつめん、焼鳥・焼野菜、餅つき大会、ゲーム(ビンゴ・輪投げ等)

参加費
五〇〇円(中学生以下 無料)

真宗大谷派福井教区・福井別院

**親鸞聖人七五〇回
御遠忌法要ご懇志の
お願いについて**

ご門徒の皆様には、門徒総会報告でもお願いさせていただいておりましたが、来る平成二十七年四月十日から十二日まで、真宗大谷派福井別院(東別院)、福井市文化会館を会場にして、見出しの親鸞聖人七百五十回御遠忌法要が厳修されます。

この御遠忌に、福井教区に属する当寺に対しても、二十六万余円のご懇志のご依頼がありますので、祐善寺一般会計より七万円を納め、残額十九万円につきまして、ご門徒の皆様よりご懇志を賜りたく、出費ご多端の折り大変恐縮ながら、何卒ご協力下さいますようお願い申し上げます。

記

★ご協力下さるご門徒様は、次のよう
にお願いたします。

- 一、一戸平均の御懇志額 三、〇〇〇円
- 二、志納期限 平成二十六年十一月二日
- 三、志納方法
 - ① 祐善寺参詣時に直接志納する。
 - ② 住職が法事や秋の報恩講参り等で貴家を訪問時に住職に預ける。
 - ③ 住職や地区役員に電話等で集金

を依頼する。
④ 郵便振替口座

007709 30721
加入者「祐善寺」

へ振り込む。

**平成二十六年度の
年忌法要を
お勤め下さい!**

本年度の年忌は左記のとおりでございますので、貴家の過去帳等を御確認していただき、皆様にとられてかけがえのない御先祖様の年忌法要を是非、勤めて下さいますようお願いいたします。

- 五十回忌 昭和四十年没
- 三十三回忌 昭和五十七年没
- 二十五回忌 平成二年没
- 十七回忌 平成十年没
- 十三回忌 平成十四年没
- 七回忌 平成二十年没
- 三回忌 平成二十四年没
- 一周忌 平成二十五年没

おくやみ

木下昌博様(越前町森)には、平成二十六年一月十三日、行年六十五歳にて往生の素懐を遂げられました。

ご生前のご功勞に、心より深謝申し上げます



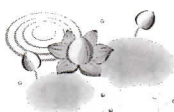
上野スイコ様(越前町新庄)には、平成二十六年一月十五日、行年八十八歳にて往生の素懐を遂げられました。

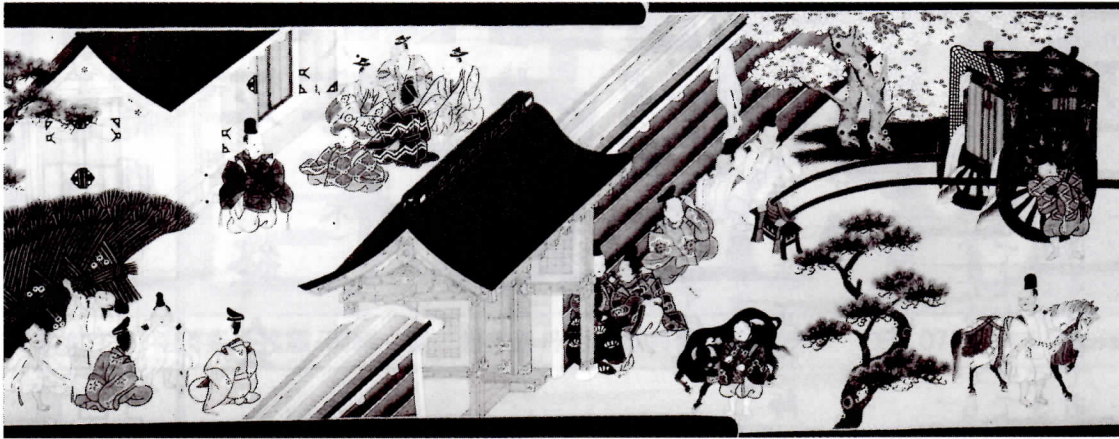
ご生前のご功勞に、心より深謝申し上げます



木村正様(越前町西田中)には、平成二十六年三月三日、行年八十九歳にて往生の素懐を遂げられました。

ご生前のご功勞に、心より深謝申し上げます





第一図
親鸞聖人御絵伝
青蓮門前



親鸞は、承安三年(一一七三)、藤原氏一門の日野有範の嫡男として誕生されました。母君は源氏にゆかりのある吉光女と伝えられています。

本来ならば、宮廷につかえるべき身でありましたが、養和元年(一一八一)三月十五日、九歳になられた親鸞(幼名を松若丸と呼ばれた)は、ご出家のために伯父の範綱に伴われて、京都粟田口にある慈円僧正(慈鎮和尚)の青蓮院を訪ねられました。

この絵は、親鸞が青蓮院にお入りになられた後の余情的な絵図です。松若丸がお召しになられた牛車が右端に見えます。その横には、桜が満開に咲いています。

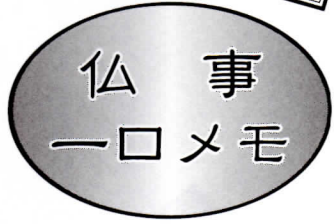
また、青蓮院の門内外には、親鸞との離別を嘆いて牛車にもたれている車番や居眠りする者、世間話して談笑している従者等が描かれており、どんな場面においても、人間は様々な表情をすることを絵図で表しています。

「親鸞聖人御絵伝」

浄土真宗の宗祖、親鸞聖人のご生涯を広く讃えんがために、親鸞の曾孫に当たる本願寺第三世覚如上人が親鸞聖人の求道の歩みを詞を著し、初稿本の絵は、親鸞聖人の直弟西仏房の孫、淨智法眼に描かせています。

詞の部分を「御伝鈔」、絵の部分を「御絵伝」と呼び、各寺院の報恩講において御絵伝四幅を余間に奉掛し、厳肅に御伝鈔が拝読されます。

其の28



葬儀を終えて

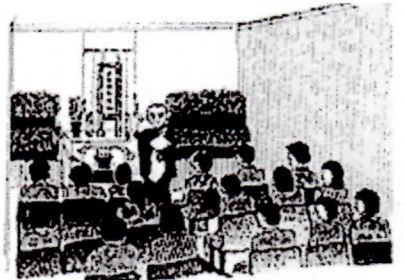
いま一度、葬儀について考えてみたいと思います。

中二のご子息・誠君を亡くされたお母さんは、こうおっしゃっています。

「法要も読経も合掌して念仏称えるのも、亡くなった誠のためという考え方は、とんでもない見当ちがいでした。仏になった誠からいただくばかりの私だったと気づかされ、△マーちゃんありがとう▽と手を合わさずにはおれませんでした。住職さんが△誠君は人生の先生です、恩師です▽といわれたのが、はっきりわかりました(『同朋新聞』から)」

この言葉から、次のことが教えられます。

- 一、読経や合掌は亡くなった人のためではない。
 - 二、仏さまに手を合わす心。
 - 三、住職の仏道への確かな導き。
- 葬儀でよく耳にする「ご冥福をお祈りします」「安らかに眠りください」「は、まさに亡き人のための手の合わせ方なのでしょう。お母さんは、慰霊の寺参りを欠かさなかったといえますから、死後の間違いのない幸福を祈った



に違いありません。私たちの力ではどうすることもできないお母さんは、悩み、苦しみ、何度も自殺を考えたそうです。とこ

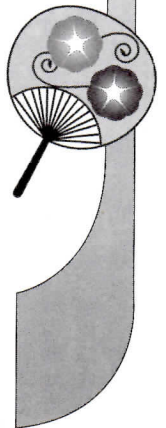
ろが、浄土真宗の教えを聞き、住職と言葉を交わすうち、何がなんでも自分の思いどおりに運ばせたいという自我の執着にどっぶりつかつていた自分がわかってきたといっています。

浄土真宗の教えの言葉が亡き誠君からの無言の呼びかけとして、聞こえてきたのでありましょう。お母さんは誠君から、人間としての生き方を教えられ続けていたのです。それが、「誠からいただくばかりの私だった」という気づきではないでしょうか。ここに、亡くなった誠君を仏さまと仰ぎ、合掌(礼拝)せずにはいられない心が生まれてきたのでしよう。

通夜・葬儀は、慌ただしく始まり、慌ただしく終わります。だからといって、単なる一過性のものであればなりません。残された人生を仏さまから、そして亡き人から聞きたずねる大切な時間なのです。葬儀を終えた後も、住職の法話を大切にされ、自らの確かな人生を学び歩んでいただきたいと思っています。

(「サンガ」より)

お知らせ



永代経会

八月七日(木)

十一時半

御齋

一時半

永代経会法要

二時

布教 正円寺住職

(福井市荒谷町)

佐々木正博師

三時二十分

物故者総墓収骨

永代経会とは、亡き人から願いをかけられて生かさせていたでいる私達が、亡き人に感謝申し上げる法会であります。

このかけがえのない法会に、ご家族、ご親族、ご法友お誘いあわせの上、何卒ご参詣下さいますよう、ご案内申し上げます。

合掌

納涼祭2014

ご案内

日時 七月二十一日(海の日)

午後三時開会

内容 流しそうめん/餅つき大会/焼鳥・焼野菜

ゲーム(景品あり)等

参加費 五〇〇円(中学生以下のお子様は無料)

申込み 七月十八日までに祐善寺までお電話下さい

(当日の飛び入り参加も歓迎です)

祐善寺の夏の恒例行事「祐善寺納涼祭」は、毎年百名前後の参加者でにぎわっています。

ご家族、ご親族、ご近所の皆様、お誘い合わせて、是非一度ご参加下さいますよう、お待ちしております。

きつと、仏様の前で楽しい夏の思い出が残ることでしょう！

ボランティア募集!!

寺周辺の草刈り作業奉仕

と き 七月十九日(日)

八時集合

持 物 草刈機もしくは鎌、軍手 等

傷害保険 加入します。

小 雨 決行します。

炎天下で恐縮ですが、ご協力頂ける方は、十七日までに祐善寺までお電話下さい。

草刈り作業のみならず、刈り草運びや草むしり等の作業もありますので、どなたでもご協力いただけます。

皆様、どうかよろしくお願ひします。



編集後記

仏事のアラカルトについて述べます。

★仏事の服装について

危篤または死亡の知らせを受けたら、直ちに駆けつけるので普段着で良いとされています。通夜や葬儀には喪服を着用し、学生は制服、子供は地味な服装に黒靴下を履きます。数珠は左手首に掛けます。ハンカチは白で、カフスやタイピンは光るものは避けます。

★数珠について

数珠の起源は、インドのブツダガヤの大樹の下で、お釈迦様がお悟りを開かれた時、その頭上の木の実を紐に通して、一つずつ指でまさぐっては仏様の名を唱えたそうです。そこで、数珠(数をかぞえる玉)と呼ばれるようになったと言われています。その樹木は、後生(菩提樹)と名付けられ、その実は今も数珠として使用されています。やがて、石やガラス玉も使われるようになり、数も百八やその半分、またその半分となり、二十七玉や二十二玉、十八玉等があります。

★皆さん、ご家族やお知り合いを誘って、一度、納涼祭にお越し下さい。お待ちしております。

(渡辺千代一)